

2020年度 事業計画書（案）

NPO 法人 CIL ひこうせん
理事長 田島 隆宏
電話番号 048-555-1100

1. 事業実施方針

2020年度は、何と言っても、昨年暮れから全世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス対策を抜きには、どんな事業も実施できない状況となっています。ひこうせんの目的でもある「誰もが自分の夢を実現できる社会」「一人でも多くの地域で自立生活を送る障がい者への自立支援」の達成は、政府が提唱する「新しい日常」では避けなければならない濃厚接触抜きには成り立ちません。誰一人感染者を出さない覚悟で日常業務を遂行しながら、少しでも被害を少なくできるよう全員でここを合わせて1日1日を無事に送れるように努めて行きましょう。4月7日に発令された緊急事態宣言は5月25日に解除されましたが、ウイルスの性格上、第2波、第3波がいつ発生するかわからない状況です。国や県のウイルス対策に従いながら、できるだけ、「誰もが自分の夢を実現できる社会」「一人でも多くの地域で自立生活を送る障がい者への自立支援」ができるよう取り組んでいきます。

各事業の実施方針は次のとおりです。

- ① 自立生活支援事業
自立を目指す当事者に対し、的確に対応し、地域で自立生活を送る障がい者を支援していきます。自立生活について理解を深め、意欲を高められるように「ILP」や「ピアカウンセリング」を実施していきます。
- ② 介助派遣及び移送サービス
新型コロナウイルス感染対策を最優先としながら、確実に障がい者の自立生活を支援できるよう万全の体制をとります。アシスタントのスムーズな派遣、アシスタントの技術や対応の改善・指導の実施、現場の課題の把握、問題の解決、アシスタント不足の解消に努めます。
- ③ 障がい者・高齢者及び児童の権利擁護活動
新型コロナウイルス感染対策の3密を回避する形での虐待防止研修の実施を検討し、虐待防止に取り組めます。
- ④ 福祉、教育、まちづくりへの啓発・提言事業

福祉の店「きゃんばす」の運営など市内障がい者団体と協働して、福祉施策の促進を図ります。ふれあいまつり、スポーツレクレーションなどの催しに参加し、市内福祉団体との連携・交流を深めます。

まちづくりでは、行田市公益活動推進委員会に引き続き参加し、積極的にまちづくりに提言を行います。忍町アートギャラリーは、市民が楽しく参加できるイベントとなるよう、行田の市街地をアート化するための活動を行います。

⑤ 障害者児福祉サービス事業

就労継続支援 B 型、生活介護、自立訓練とサービスの種別による取り組みの違いを利用者のニーズに合わせ、今まで以上に明確にしていきます。入浴サービスや機能訓練・生活訓練など必要なプログラムの確立、自前の厨房による昼食の提供を引き続き実施します。

メンバーの工賃アップや訓練として、アート作品やクラフト製品の製作、カフェの経営、内職の受注、リサイクル事業などを引き続き実施して行きます。A 型事業所設立に向けて、収益性を重視する事業の開発を実施します。

「amp かわいいサミット」は、新型コロナウイルス感染対策のため、今年度は中止の止むなきに至っており、来年度の開催に向け、準備を進めていきます。

共同生活援助・絆では、多様な入居者の要望にできるだけ対応しながら、安全、安心に生活が続けられるよう取り組みます。世話人会議を月 1 回開催し、ホームで生起する諸問題の解決を図ります。

新たに取得した土地に、生活介護とショートステイを組み合わせた多機能型の事業所の設立を目指します。また、「こころ」の耐震化にも取り組みます。

⑥ 児童福祉法に規定する児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業

支援校からの卒業や近隣に多数の放課後等デイサービスが設立されたこと等により、利用数が減少したため、今年度から「きらきら」は休業とし、「ぴーす」に統合しました。日中活動の「自立訓練」とも連携しながら自立に向けた個人支援計画を作成し、療育を行うと共に、自立を見据えたひこうせん独自の日常活動プログラムの確立を目指します。

⑦ その他

広報として、ひこうせん通信を年 1 2 回発行し、HP、フェイスブック、ブログなど SNS を駆使した広報にも引き続き取り組みます。

多人数が集まるイベントについては、感染症対策を踏まえて、企画の見直しをしていきます。